

第2回地域・スポーツ振興賞受賞作品概要		
最 優 秀 賞	タイトル 応募者（所在地）	スポーツ雪合戦による地域活性化 昭和新山国際雪合戦実行委員会（北海道有珠郡壮瞥町）
	作品の概要 壮瞥町は、北海道の南西部に位置する観光と農業が主産業の小さな農村。観光客が激減する冬期間の地域活性化が悲願。ある日、東南アジアからの観光客が生まれて初めて見る雪に感激し、嬉々として投げ合うのを見た町民若者グループは、雪の神秘さ、雪遊びの楽しさに気づき、雪合戦をスポーツとして開発することを思いつく。昭和63年に世界初のスポーツ雪合戦のルールを完成、町民の知恵、人脈を活かしながら雪合戦用ヘルメット、雪玉製造器などのオリジナル用具も次々と開発。町民による実行委員会も結成。約400人の町民がボランティアとして参加。 平成5年に日本雪合戦連盟を設立。現在、22道県17団体が加盟。海外でもフィンランド、ノルウェー、スウェーデン等5カ国で日本と共通のルール・用具による大会が開催されている。雪合戦マガジン（スポーツ専門誌）の創刊、スポーツ雪合戦体験センター・NPO法人雪合戦インターナショナルを設立して環境づくりを進めている。来年2月の北海道冬季国体で公式行事として「国体雪合戦大会」を開催することに決定。雪は自然がくれた北国のプレゼントであり、冬の生活を楽しく豊かにしようがスポーツ雪合戦のコンセプトである。他	
優 秀 賞	タイトル 応募者（所在地）	はつかいち縦断みやじま国際パワートライアイスロン大会2009 同上大会実行委員会（広島県廿日市市）
	作品の概要 広島県の西部に位置する廿日市市は、平成の大合併で旧5町村がひとつ（平成15年3月）になり、世界遺産の厳島神社を含む瀬戸内海の宮島から西中国山地の豊かな自然まで、新しい顔を持つ市となった。この大会は廿日市市制20周年を記念して始まり、合併した市の連携強化と発展を願い、地元住民をはじめ地域の団体や企業がスポーツを通じて心をひとつにすることを目的に開催される。第3回大会（2009年）の開催に際しては、地域ごとの実行委員会が作られるなど、地域一体となった大会に成長している。第3回の実績は、参加選手423名、ボランティア参加数2,000名、観客動員数約65,000人。 特筆すべき点は、①世界遺産（厳島神社）をコースに取り込み全国に発信、②資金難を乗り越え、市民・地域が一体となって作り上げた大会、③スイム・バイク・ランを3名でリレーするチームリレーの部の新設でより参加しやすい大会に、である。今後の展開は、スポーツを通じて廿日市市をもっと元気に！ 地元の大会から全国に誇れる大会である。他	
優 秀 賞	タイトル 応募者（所在地）	四万十川水泳マラソン大会 財団法人 四万十市体育協会（高知県四万十市）
	作品の概要 昭和64年～平成21年で16回実施。自然河川での水泳大会は全国的にも珍しい。『自然とふれあい、四万十川の鮎と一緒に泳いで見ませんか？』をキャッチフレーズに、自然の雄大な四万十川を泳ぎ下り、自然保護の大切さを実感していただくと共に、健康な人づくりと観光に寄与する等、四万十市勢の活性化を図ることを目的に当体育協会加盟26団体の会員を始め、市職員、一般市民を含む総勢200余名のボランティアの協力を得て開催してきた。本年度は北海道から沖縄までの全国各地から421名の参加があった。リピーターが多いのも特徴で、最後の清流が謳い文句でもあり、四万十川の清い流れがこの大会の生命線である。 いつまでも四万十川が美しい流れを守れるようにと四万十市清流基金に参加料の一部を寄付している。参加資格は、健康で水泳の出来る者。コースは、自然河川での3.5kmコースと5kmコースで流れの全く無い深い淵あり、急流の箇所あり、雨量の少ない年は腹をするほどの浅瀬あり、タイムを競う選手はマラソンのように浅瀬を走る方もいる。大自然を相手の大会のために参加者の安全・安心を第一に心がけており、河川に監視船30艘を配置する等、選手の安全確保に努めている。他	

佳作	タイトル	スポーツごみ拾い
	応募者 (所在地)	日本スポーツごみ拾い連盟 (東京都渋谷区)
<p>作品の概要</p> <p>「スポーツで街をきれいにする!」、「スポーツごみ拾い」は、従来のごみ拾いに「スポーツ」のエッセンスを加え、今までの社会奉仕活動を社会奉仕型競技へと変換させた新しいスポーツである。「スポーツごみ拾い」は、街を競技エリアとし、スポーツとしてごみ拾いを競います。参加者はチームでエントリーしていただき、予め決められたエリアの中、タイムトライアルでごみを拾う。ルールは、“競争中は走らない。小さなごみを見逃す行為は減点。ごみの分別ができていないと減点。審判の注意を無視すると退場等”である。</p> <p>「スポーツ」と「環境」の刺激的な融合により、「同じ目標へ立ち向かう」「みんなで力を合せる」「助け合い」「達成感」「悔しさ」「爽快感」など、スポーツが持つ特有の素晴らしいキーワードが、競技者(参加者)自身のごみへのイメージを一新させる。「スポーツごみ拾い」は、発足と同時にこのスポーツ自体がなくなることを目標としている。2010年は横浜市、三島市、鶴岡市、東京都青山・お台場海浜公園、湘南海岸などからオファーをいただいている。他</p>		
佳作	タイトル	「横浜F・マリノスのサッカー食育キャラバン」～サッカーを通じてひろがる笑顔の輪～ 横浜マリノス株式会社 (神奈川県横浜市)
	応募者 (所在地)	
<p>作品の概要</p> <p>近年、子どもたちの体力低下、スポーツ離れが叫ばれて久しい。横浜F・マリノスでは、1996年から現在に至るまで、横浜市内を中心とした小学校へのサッカー巡回指導を行ってきた。横浜市、横須賀市の教育委員会と協力し、各小学校の体育事業の一環として行われるこの活動は、マリノスコーチ陣による指導によって、1999年以降の10年間でのべ1,243校、158,128人の子ども達にサッカーの楽しさ、身体を動かすことの大切さを届け、また2008年からは給食の時間を使い、マリノスのプロ選手を指導する管理栄養士の持つノウハウを活かした「食育」を伝えてきた。プロのコーチ的的確なアプローチに学校関係者からの感謝の言葉も絶えない。</p> <p>学校部活動における事故が増え、その対応や予防策の必要性が求められる中、安全安心な運動環境の整備、的確な運動指導の徹底をプロのコーチが啓蒙していくという観点から、中学や高校、総合型地域スポーツクラブなど、サッカー食育キャラバンは、その活動範囲をさらに広げていく可能性を持っている。他</p>		
佳作	タイトル	だれもがスポーツに親しめる環境づくりをめざして
	応募者 (所在地)	NPO法人新発田市総合型地域スポーツクラブ「とらい夢」(新潟県新発田市)
<p>作品の概要</p> <p>新発田市は越後平野の北部に位置し、新潟県北部の中核都市である。新発田市総合型地域スポーツクラブ「とらい夢」は、平成18年2月にNPO法人の認可を取得。スポーツを通じ、次代を担う子ども達の心身共にたくましい成長と、世代を超えた市民交流を図ることにより、だれもがスポーツに親しめる環境づくりと豊かな地域社会の構築に寄与することを目的に活動している。会員数は635名。新発田市、(財)新発田市まちづくり振興公社の協力のもと、市内の公共施設を拠点として子どもから高齢者まで、幅広い年代を対象とした各種スポーツ教室やスポーツ体験プログラムを開催している。</p> <p>幼児から中学生を対象とした事業では子どもの健全育成を重視し、小学1～3年生を対象にした「ちびっこスポーツ教室」では、「走る・跳ぶ・転がる」など運動することの楽しさを体験させることに重点を置いている。キッズ・ジュニア教室(平成20年度955人)、16歳以上を対象とした健康づくり事業(同4,886人)。平成20年度には総合型スポーツクラブでは全国で初めて日本トップリーグ連携機構と共催で「2008 ボールゲームフェスタ in 新潟」を開催した。他</p>		

佳作	タイトル	ゴールデンゲームズ in のべおか
	応募者（所在地）	ゴールデンゲームズ in のべおか実行委員会（宮崎県延岡市）
<p>作品の概要</p> <p>延岡市は、多くの世界的なアスリートを輩出しているというスポーツ面の特性を活かし、「アスリートタウンづくり」を推進している。全国規模の陸上競技大会が行われるほか、陸上、柔道、野球、サッカー等、プロから社会人、中・高校生の多くのチームがスポーツ合宿している。</p> <p>「ゴールデンゲームズ in のべおか」は、旭化成陸上競技部の練習グラウンド改修を記念して、平成 2 年に関西・中国・九州の実業団から選手を招き、陸上中長距離の記録会として開催されたもの。平成 11 年には日本陸上競技連盟の後援大会に昇格するなど質の高い記録会となり、出場選手も実業団の選手や高校生に加え、中学生、小学生へと門戸を広げ、選手の底辺拡大をしている。今では約 700 名の選手と 2～3 万人もの観客が集まる大会となっており、約 1,300 人のボランティアが大会の運営に携わっている。日頃から街中をトップアスリートが走る姿を見ることが出来るという土地柄もあり、市民が誇りをもてるイベントである。競技が昼過ぎから始まり終了が午後 10 時となることから、ホテル・旅館業をはじめ、飲食業やバス・タクシーなど経済効果は大きい。（概算試算：4500 万円／回）他</p>		